



## 石神地区授業研究会が行われました

11月17日(金)、石神地区授業研究会が行われました。4校時に石神二小、5校時に石神中での実施となりました。公開授業には、相双地区の小中学校の先生106名が参観し、終了後授業についての研究協議を行いました。

その時の様子を紹介します。

### 【日 程】

	11:00	11:15	12:00	13:25	14:15	14:25	15:10	15:20	16:20	16:30
受付	公開授業Ⅰ (石神二小) 国語・算数	昼食 ・ 移動	公開授業Ⅱ (石神中) 社会・理科・英語	休憩 ・ 移動	分科会 及び 研究協議	休憩 ・ 移動	講 演 (体育館)		閉会	

### 【公開授業】

	教 科	学 級	内 容 (単元名)
公開授業Ⅰ (石神二小)	国 語	3－1	せつめいのくふうについて話し合おう
	算 数	6－1	比例と反比例
公開授業Ⅱ (石神中)	社 会	3－1	企業を通して経済を考えよう
	理 科	2－2	天気とその変化
	英 語	1－1	Daily Scene 4 ウェブサイト

### 【授業のようす】



### 【アンケートに寄せられた声】

- 児童間での学び合いや調べ学習、「フィッシュボーン」を活用しての集約など大変勉強になった。
- 子どもたちの活発なグループでの話し合いから、普段の学習訓練が感じ取れた。どの教科でも一貫して取り組むことが必要だと再確認した。
- 算数の授業では、意見交換の場面が設定されており、子どもが積極的に参加していた。
- 英語の授業はなごやかでほほえましかった。
- 思考ツールを用いるというのが新鮮だった。取り組み、考えやすいうえに、グループで協働できるというのも良かった。
- ジグソー学習を用いたことで、生徒一人ひとりが役割をもって授業に参加することができていた。
- 様々な手立てを用いた授業で、大変参考になった。自分の授業でも活用したい。
- 社会科の授業を参観し、これから求められる授業のあり方を考えることができた。
- 習慣化、継続化させることができが何よりも有効な手立てだと感じた。
- 手立てだけでなく、学習習慣の鍛錬、T-Tの役割の明確化、単元構想など授業づくりに関して大切な要素を学ぶことができた。
- 課題が工夫されており、子どもが主体的に学ぶ姿が見られた。参観してとても気持ちのいい授業だった。
- ICTが効果的に活用されていた。
- 小中の授業を続けて見ることができ、有意義だった。中学生が思っていたよりもグループ活動に積極的だったのが印象に残った。
- 子どもたちのノートが素晴らしく、一人ひとりしっかり考えを持って授業に臨んでいることが分かった。全体での共有化の場面でもっと意見が出る姿を見たかった。
- 生徒同士の対話や協働をコーディネートし、学びが深まるようにする教師の役割は重要だと感じた。
- 小中両方の授業参観ができ、つながりが見えて良かった。
- 子どもの表情がよく、授業に対する満足度が高いように感じた。
- 思考ツールは確かに魅力的と感じるが、授業のポイントは導入における、生徒に対していかに目的意識をもって課題に取り組む意欲をもたせるか。展開においては、いかに交流させて進めるのか。終末においては自分のことをどれくらい振り返られるのか。いつの時代もこれだと思う。
- まとめとふり返りの時間が十分確保できなかった。授業の構想は、説明文を読む力を育成する所だけでなく、単元全体を記入してほしい。今回は「学びのスタンダード」推進事業のはず…それに合った授業の組み立て（構成）が必要だったのでは…
- 授業の構想シートが生かされていた。本時は時間が足りなくて、メインの学びのふり返りの時間が足りなかった。
- 指導計画を立てる段階で意図的に時数配分を工夫しないと実行するのは難しい授業内容だと感じた。
- 授業で共通する柱を共有すると、石神ブロックとして実践協力しやすい。

### 【講演会】

「主体的、対話的な学習を通して、児童生徒が相互に啓発し合える

授業のための教師の在り方」

独立行政法人福島大学 准教授 宗形 潤子 様  
(会場: 体育館)



### アンケートから（感想等）

- 主体的、対話的な学びのイメージが持てた。
- 教師として授業をどのようにマネジメント・コーディネートしていくべきなのか、考えさせられた。
- 子どもの表情、発言についての見取りの大切さ、日々の授業への心構えなどを改めて考えさせられた。